

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 9月 27日

【評価実施概要】

事業所番号	0170502462		
法人名	メディカル・ケア・サービス北海道株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム札幌福住		
所在地	札幌市豊平区福住3条8丁目16番1号 (電話) 011-857-1222		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年8月23日	評価確定日	平成19年9月27日

【情報提供票より】(19年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成16年1月5日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	26 人	常勤	24人, 非常勤 2人, 常勤換算 23.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	3階建ての	1~3 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	64,000 円	その他の経費(月額)	21000~26,000 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(100,000円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(8月23日現在)

利用者人数	27 名	男性	7 名	女性	20 名
要介護1	5	要介護2	12		
要介護3	4	要介護4	3		
要介護5	3	要支援2	0		
年齢	平均 90 歳	最低	79 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	新札幌聖陵ホスピタル・柏葉脳神経外科病院・ラビット歯科
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は緑豊かな住宅街に立地し、全国にネットワークを持つ事業主が開設したホームである。事業所内には居間の他にパブリックスペースが設けられており、利用者が居心地良く過ごせるよう配慮された造りになっている。職員の利用者に対する対応は穏やかであり、ケアサービスの質の向上に向けて日々努めている。職員は利用者が外出・畑作業・花壇の手入れ・カラオケなどの楽しみ事などを工夫し、一人ひとりのペースで生き活きと暮らしていけるよう取り組んでおり、今後ますます期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価における事業所の啓発活動等の課題を踏まえ、改善に向けて取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	日々のケアを振り返りながら全職員で自己評価に取り組み、サービスの質の向上に努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	平成18年6月に運営推進会議を設置し、これまでに5回開催している。会議の中で、利用者へのサービス体制や前回の会議における検討事項・懸案事項のその後の取り組み状況の報告をし、活発な意見交換を行い改善に向けて具体的な取り組みに繋げている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	月に1度事業所便りを発行しており、利用者の暮らしぶりや健康状態等を家族に報告している。また、来訪時にケアプラン・介護記録・金銭出納帳等を家族に開示し、承認してもらっている。運営推進会議において家族に代表者からケアサービス改善に向けての意見・要望が提示され、運営に反映されるよう全職員が努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入しており、地域の行事に参加している。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域の人々とのふれ合いを大切に」を理念の一つに掲げており、事業所の機能を中核にした地域づくりを目指した独自の理念をつくり上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝・夕の申し送り時や会議において理念を確認し共有しているが、理念を具体化した取り組みを行うまでには至っていない。	○	今後、全職員で話し合い、地域密着型サービスについて意見の統一を図った取り組みを行うことが期待される。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	当事業所は町内会に加入しており地域の行事に参加しているが、積極的に交流が図られるまでには至っていない。	○	今後、事業所の行事に近隣住民にも参加してもらったりボランティアを受け入れるなど、地域との交流を図ることが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日々のケアサービスを振り返りながら全職員で取り組み、質の向上に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議において利用者へのサービス体制や検討事項・懸案事項等について意見交換を行い、改善に向けた具体的な取り組みを行っている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議には地域包括支援センターの職員も参加し、市町村担当者とも管理者会議等で連絡を取っており、ともにケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に1度事業所便りを発行しており、利用者の暮らしぶりや健康状態等を家族に報告している。また、来訪時にケアプラン・介護記録・金銭出納帳を開示し、家族に承認してもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>年に1度家族アンケートを取り、意見・要望の聞き取りを行っている。また、運営推進会議においても家族の代表者からのケアサービス改善に向けた意見・要望の提示を受け、運営に反映するよう努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>3ユニット共に離職者が多く、利用者との馴染みの関係を築くのが難しい状況である。</p>	○	<p>職員の離職に伴う利用者のダメージを最小限に抑えるため、今後職員が継続して介護に従事できるような環境づくりを検討することが期待される。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修を行っており外部研修の予定も組まれているが、定期的な研修の受講機会を確保するまでには至っていない。	○	今後、年間計画の中で、職員の経験や段階に応じた研修の定期的な実施を組み込むことが望まれる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人の事業所間での研修や意見交換は定期的に行っているが、他の事業所との交流を図るまでには至っていない。	○	今後、同業者とのネットワークづくりや勉強会を通じて連携を取れるような具体的な取り組みが期待される。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に利用者本人・家族に事業所を見学してもらったり、職員が利用者宅を訪問して馴染みの関係を築いてからの入居となるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は「利用者は人生の先輩である」という考えを共有しており、調理・掃除・畑仕事など教えてもらう場面を多く持つよう工夫し、協働しながら生活できるような場面づくりや声かけを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の日々の会話や表情から一人ひとりの思いを汲み取り、職員間で話し合い利用者の希望・意向の把握に努め、本人本位となるよう検討している。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>全職員で意見交換・モニタリング・カンファレンスを行い、本人・家族の思いや意見を反映させた介護計画を作成している。作成した介護計画は家族に確認してもらい、了承を受けている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度定期的な見直しを行っている。また、利用者・家族の要望や状況変化があった場合はそのつど話し合い、見直しを行っている。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>外食・買い物・病院への付き添い・自宅への送迎など、柔軟な支援を実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者のかかりつけ医での受診や2週間に1度の往診など、利用者と家族の希望に沿った受診支援を行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に終末期や重度化に関する説明を行っており、署名・捺印をもらっている。また、状態変化があった場合は家族・医師・看護師を交えて話し合い、本人・家族の意向を確認しながら全員で方針を共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居時に個人情報に関する説明を行い、「個人情報使用同意書」を交わしており、個人情報を他言しない事は当然の遵守事項として守られている。また、職員は利用者の誇りやプライバシーを損ねることのないような対応を心がけている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日その時の利用者の気持ちを尊重し、散歩や喫茶店・コンビニへの外出など、一人ひとりの状態や思いを配慮しながら柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の要望を取り入れた献立を考え、事業所の畑で採れた野菜を使っでの調理・盛り付け・配膳・後片付けなど、利用者一人ひとりの力を活かしながら食事が楽しいものになるような支援が行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望に合わせ、利用者が寛いで入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や家族からの情報を基に、畑仕事・花壇の手入れ・毎朝の暦の日めくり・カラオケなど、一人ひとりに合った役割・楽しみごと・気晴らしの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・ドライブなど、一人ひとりの希望に応じた外出支援が行われている。また、月に1～2回の外出行事が組まれており、気分転換やストレス発散の機会として取り組んでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入浴時や職員の休憩時間中は利用者の安全確保のため、施錠している。	○	今後は、職員のシフトを調整し、安全面に配慮しながら利用者が自由に生活できるよう、日中は鍵をかけないケアに取り組むことが期待される。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	事業所独自の災害訓練を行っており、秋には消防署の協力による災害訓練の実施も予定されている。	○	今後、災害時マニュアルを作成し、警察署・消防署・地域住民と連携を取りながら協力体制を築いていくことが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本部の栄養士が作成した献立表を基に、事業所独自のメニューが作られている。食事・水分摂取量を毎日チェック表に記録しており、職員は情報を共有している。利用者に食事制限がある場合は栄養士からアドバイスを受け、対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には大きな窓が設置されており、明るく風通しの良い空間になっている。居間の他にパブリックスペースがあり、寛げる場所が確保されている。トイレ・浴室・廊下もバリアフリーの車椅子対応で、細部まで配慮された造りになっている。壁には利用者の似顔絵や季節に合う品が飾られており、生活感・季節感を取り入れる工夫がなされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた馴染みの家具や仏壇が持参されたり写真や絵が飾られるなど、利用者が安心して居心地良く過ごせるような工夫がなされている。		

 は、重点項目。